



議会だより

たちばな



第69号

令和元年 9月定例会 (第4回)



高原町制施行85周年記念事業 フルリレーマラソン&ウォーキング 10月6日(日)

もくじ

- 9月定例会のあらまし・・・P2～P3
- 一般質問・・・・・・・・・・P4～P9
- 意見書・・・・・・・・・・P10
- シリーズ「健康づくり推進」・P12



町鳥(仏法僧)
フッコウソウ



町木(たちばな)



町花(みやまきりしま)



the most beautiful
villages
in japan

議案の概要

決算認定 9 件、補正予算 5 件、報告 1 件、人事案 1 件、条例 6 件が提出され審議が行われました。

令和元年度 一般会計補正予算

9月補正
予算総額 **2億1,722万5千円**
62億 416万9千円

平成30年度 一般会計決算

歳入総額 **61億9,166万円**
歳出総額 **60億9,329万6千円を認定**

平成30年度決算の歳入総額は61億9,166万235円、前年度と比較して1億1,864万9,977円1.9%の減、歳出総額は60億9,329万5,535円、前年度と比較して、9,645万7,658円、1.6%の減となっています。

翌年度へ繰り越すべき財源は、2,036万1,000円で、実質収支額は7,800万3,000円となっており、このうち5,000万円を財政調整基金に積み立てます。

【公営企業会計】

(単位：円)

		水道事業	工業用水道事業	病院事業
収益的収支	収入	207,496,382	—	1,011,309,905
	支出	187,710,964	—	986,384,866
資本的収支	収入	65,151,029	2,048,502	26,976,466
	支出	116,309,743	2,048,502	72,750,917

各特別会計と工業用水道事業会計決算

(単位：円)

区 分		歳 入	歳 出	差引残額
高原町住宅新築資金等貸付事業		853,260	853,249	11
高原町農業集落排水事業		27,703,121	24,701,864	3,001,257
高原町国民健康保険		1,546,203,179	1,524,865,839	21,337,340
高原町 介護保険事業	保険事業勘定	1,255,352,718	1,215,205,815	40,146,903
	サービス事業勘定	4,232,445	3,584,678	647,767
高原町後期高齢者医療		306,585,689	301,952,419	4,633,270

平成30年度決算の主な内容（主な事業のみ掲載）

○農道整備費

県単独土地改良事業 山宮地区（L＝499.1m）・・・3,600万円

○観光費

国立公園整備事業 御池松の港野営場園路整備工事

東屋・テーブルベンチ改修工事・・・2,176万3千円

○学校管理費

広原小学校校庭ブロック改修工事・・・・・・・・・・273万2千円

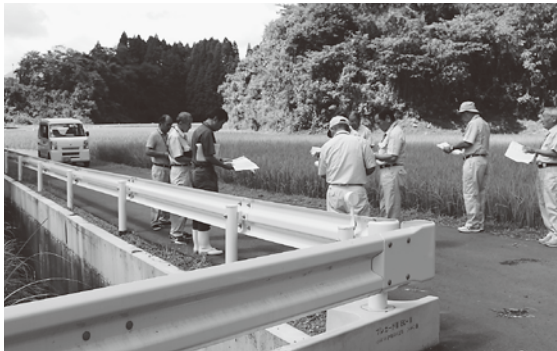
狭野小学校非常階段設置・屋根改修工事・・・・・・・・429万8千円

狭野小学校教職員トイレ改修工事・・・・・・・・・・437万4千円

○水道事業費

旭台地区 紫外線処理施設整備工事・・・・・・・・・・3,067万1千円

現地調査 令和元年9月10日



▲土地改良事業（山宮地区）



▲国立公園整備事業（御池）



▲広原小学校（校庭ブロック改修工事）



▲狭野小学校（非常階段設置・屋根改修工事）



▲狭野小学校（教職員トイレ改修工事）



▲旭台地区（紫外線処理施設整備工事）

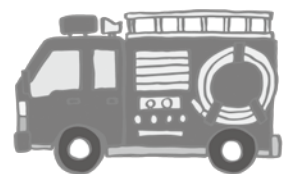
一般質問

町の考えを問う

防災元年として考える機会を



福澤 卓志議員



洗トイレも視野に財源等も含めて検討していく。

問 イベント広場舗装について

答 財政面を考えながら小区画単位でも年次計画で、広場の整備を行っていく。

○本町の防災について

問 防災に関する質問

答 防災組織は完全には機能していないことから、地域防災マネージャーと防災士の資格を持った専門家を入れて、組織の強化を行っていく。また町

からの災害情報を、一斉送信メールで配信する準備が出来たので登録をお願いしたい。

①避難所の開設が必要な場合は、施設管理者である区長に連絡し開設する。

②備蓄倉庫は各小学校校区と、ほほえみ館にあり、非常食(50人×3日分)、日用品が入っている。

③要支援者情報のリスト化は、出来ていない。

問 町内防災士について

答 町内に防災士が23名いる。取得に関する補助は行なっていないが防災

士育成のために考えて行きたい。

問 消防団員確保について

答 各分団と後援会においてお願いしている。

問 役場職員の消防団員について

答 164名中50名が各分団に所属。深夜火災発生に出動した職員が、翌日の出勤への緩和等処置に関する条例や規則が無いため、有休などで対応している職員が多い。

問 女性消防団員について

答 2名所属、女性消防団員が増えて欲しい。

○本町のごみ処理について

問 霧島美化センターについて

答 最終処分場としての埋立処理は終了したが、今後の運営等については小林市と協議していく。可燃物等ゴミ処理委託費用に平成30年度は3381万円かかっている。町民の皆様のご理解を頂き、ゴミの削減にご協力をお願いしたい。

問 議会タブレット端末導入について

答 議会に関する印刷(例規集、予算書含む)の金額は、年間約189万円。タブレット導入に関し、議会の意向と併せて検討を行っていく。

問 中央運動公園野球場トイレについて

答 全ての方々が安全に利用できる様に、簡易水



町立病院問題



前原 淳一議員

○経営形態の見直しを

問 6月議会で町民の声について質問したが、その後も変化が見られない。

答 経営管理会議にて医療体制の対応策について協議した。今後も内容不足など検討協議していく。

問 将来のあるべき姿の検討を始めているとのことだった。

答 選択肢を見据えた上で9月中にとりまとめ報告協議していく。

問 独立行政法人や公営企業法の全部適用など経営形態の見直しが望ましいと考える。

答 現段階では病院のあるべき姿の方針に全力を傾注していく。

○小中一貫教育

問 施設一体型の小中一貫教育を行うべきでは。

答 今後検討の際、施設の形態も議論されていく、そのとき判断される。

問 多くの人に採まれ、切磋琢磨しながら人は大人になっていくもの、中一ギャップの解消はもちろんコミュニケーションの取り方等に問題点も出

てくるのでは。

答 本町の小中連携は独自のものであり学力向上とふるさと教育の充実を目指している。

問 保護者の考えは聞いたのか。

答 特段の考えは聞いていない。

問 町長の考えは。

答 本町の学校教育にどのような形態が適切かを含め検討していく。

○まちづくり

問 今の町営住宅建設や移住定住対策では町発展の効果に疑問が残る、思い切った奇想天外の発想も必要では。

答 先進地事例を参考にしながら街づくりに寄与していく。

問 今のままでの観光対策では不十分では。

答 神話伝説や霧島・伝統文化・行事などの資源を活用し、観光誘致を図り経済発展と活性化に努め雇用を創出していく。



▲狭野小学校



▲競売前の旧高原高校

病院の早期経営改善を！



陣 圭介議員

問 中央商店街の現状につき、商店主等の意見を承ると答弁されたが。

答 商店街再生アドバイザー派遣もいただき、商店街の中心になる方、商工会役員と会議を開催し現地調査も行った。商店街の空き店舗対策、再生につき具体的方針を今後出す。



▲中央商店街

○町立病院について

問 病院の現状の訴えは、診療体制についての声が大きい。現場にどう伝えるか？

答 まずどういった事情かを再度確認する。（町民の方々からの）声についての情報は共有しなければならぬ。

問 本年度の一般病床の

病床稼働率は？稼働率の減について、原因の分析は？

答 42・6%（4月～7月）。入院患者数を増やす対策につき、医師の方から「厳しい」との見解があり、それ以上議論していない。

問 他院への紹介件数は？

答 686件（平成30年度）。

（意見）他院への紹介が外来患者数、入院患者数の減につながっているのは明らか。



▲高原病院

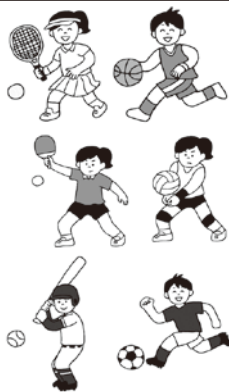
○教育予算

問 冷水器設置の必要性は？

答 学校長と教育委員会で協議し、設置は見送っている。今後、保護者からの要望の有無や環境の変化などを勘案し検討する。

問 スポーツ文化団体誘致の予算は、町内の団体等の遠征費用等の拡充に充てるべき。

答 事業の費用対効果や補助金のあり方も含め、今後検討を重ねる。



○集落営農

問 農機具を組合員が私

的に使用し、その使用料を支払わない場合、対応は？

答 仮にそのような状況で活動に支障を来している場合は組合長会議等で助言する。

問 法人化推進の前に、組織としての実態把握が必要。方向性を共有できない限り、収益性の向上までの苦勞が推測できる。

答 意見がまとまらない組合もある。関係機関と連携し指導・助言する。

○住宅等施策

問 新たな住宅セーフティネット制度の活用について、考えは？

答 移住定住の促進に繋がるもの。必要に応じて制度の情報の周知を図る。



広域消防について



中村 昇議員

○消防職員の確保を

問 高原分遣所では所長も含め16名。通常の場合、夜間に救急車で3名が出動すれば2名が残り、火災に最低でも対応できる。しかし、一人が年休などで休むと対応が取れない。職員の定数をどう考えるか。

答 現在、幹事会、理事会で検討している。



▲高原分遣所



○町立病院 外来の休診について

問 これまで平日には仕

事で休めない人などが、土曜日に受診したり、利用しやすいものだった。休診に至った理由は。

答 鹿大より外科医師を派遣してもらっていたが、大学での手術や医局の医師不足から土曜を休診することになった。

○労災職業病患者の対応について

問 町立病院の医師（すでに退職）が、労災の休業補償給付支給請求書に添付しなければならぬ証明書を提出してくれず、このままでは補償が打ち切りになりかねないとして、転院された。病院経営にかかわる大きな問題、どう考えるか。

答 不手際もあり、ご面

倒をおかけした。

問 振動病をお持ちの方が入院され、振動病の薬を出してくださいとお願いがしたが、10日経ってから出してくれたとのこと。これは病院に問い合わせればすぐに対応できたことではないか。

答 町外の病院であったため、当院での薬の処方できなかった。



○福祉行政 障がい者の介護保険優先について

問 障害者総合支援法の「介護保険優先原則」に

基づき、障がい福祉サービスを使用する障がい者が65歳になると自己負担が増えたり、同じサービスが受けられなくなったが、本町の対応は。

答 個別に判断したうえで、必要に応じて障がい福祉サービスが利用できる。

問 投票所の改善について 小林市やえびの市は靴を履いたまま上がり、投票できる。本町でも改善が必要では。





高齢者支援について



末永 充議員

問 本町の高齢者支援及び高原町シルバー人材センターの支援について

答 老人クラブの会員増や各地域での活動を活発にするための支援に積極的に取り組んでいく。高原町シルバー人材センターの支援として、運営費の一部補助及び各種業務を委託している。

問 今年度の公共業務委託は、どのようなものがあるか。

答 中央公民館図書業務、学校用務員業務、水道施設点検等業務、配食サービス及び見守り業務、各種草刈り業務、清掃業務、農業用廃プラスチック適正処理業務であり、約1430万円である。

問 業務委託のモニタリング（事後評価）を行っているか。

答 各担当課において、報告書を基に検収を行っている。

問 健康支援の取組について

答 高原町老人クラブ、21団体の活動状況等について



答 連合会スポーツ大会及び運動会の参加、視察研修、町主催の各種大会への参加や清掃活動等となっている。

問 活動人数が減少している原因は。

答 仕事を続ける老人が増えている。ライフスタイルが変わり社会的参加が多くなった。

問 高齢者部門の一本化はできないのか。

答 令和2年4月に、高齢者部門の窓口を一本化し、安心して相談できる場を提供できるよう取組む。

問 今後の防災力の充実を図るうえで、屋外拡声器の増設計画はあるか。

答 屋外拡声器の聞こえ方は、天候等によって影響を受けやすいため、消防団による広報や県の災害情報支援システムを活用した報道各社への一斉

情報伝達をおこなっている。

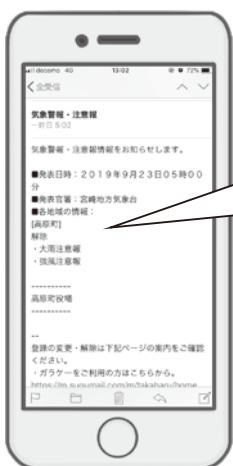
問 行政情報の活用について

答 9月より登録型メールサービス「高原町メールサービス」を導入し、聴覚障がい者用の文字で表示できるタイプ等、町民の周知を図り行政情報伝達の活用にも努める。

気象警報・注意報情報を
■発表日時：2019年9月23日05時00分
■発表官署：宮崎地方気象台
■各地域の情報：[高原町]
解除
・大雨注意報
・強風注意報



▲庁舎屋上の野外拡声器



▲登録型メールサービス





町民が主役の街づくりを



温水 宜昭議員

○農業振興対策について

問 本町の農業形態の現状と支援策について

答 専業・兼業併せた農家戸数は1063戸。認定農業者は269経営体で、肉用牛関係が約6割である。支援については、国・県の各種事業を取り入れ、生産者や関係機関と連携を図りながら取り組んでいく。

問 農業後継者の育成支援について

答 平成26年度以降15名の新規就農者が誕生しているが、今後は農業次世代人材投資事業等を活用し、担い手確保に努める。



▲県の共進会

問 畑地かんがい事業の進捗状況と推奨作物は

答 15地区930haの計

画に対し、6地区342haが事業実施中又は完了している。推奨作物は、昨年度から生姜モデル展示圃を設置し収量増・収入増の実績を得ている。



▲畑地かんがい事業

問 農地集約化への取組と幹旋状況について

答 町内農地面積2220haのうち、約42%925haが認定農業者によって耕作されている。農地売買の平均価格は水田で30万8千円／反、畑24万9千円／反である。賃貸借価格は水田1万円／反、畑5千円／反である。

問 中山間地域等直接支払交付金事業の今後は

答 令和2年度以降の第5期計画でも、集落営農組合の考え方、活動等を把握しながら実施する方向で、国や県とも密に連携を図っていく。

○高原病院改善について

問 経営改善検討会議の現状は

答 令和2年3月までに、次期病院長や新規医師確保の見通しを立てることや救急告示施設の存続等を柱として協議を行っている。

問 西諸医療圏内連携での医療提供の方法は

答 えびの市、小林市、高原町の副市長、副町長並びに病院関係者で構成する公立病院部会を設置し、第1回目の会議を9月末に開催する予定である。

問 今後の高原病院改善に向けては、町民や現場職員の声も参考にされ、慎重かつ丁寧に進めては

答 高原病院の改善は最重要課題の一つであり、目標達成のため具体的な取組を推進していく。

意見書

国や県などに要望するため、議会の考えをまとめて、意見書として提出します。

【国土強靱化対策の推進を求める意見書】

近年の頻発化、激甚化する自然災害やあらゆるリスクに対して、国は平成26年に国土強靱化基本計画を策定し、さらに平成30年には見直しを行っております。

さらに、政府は、防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策を打ち出し、被害を最小限にとどめ、迅速に回復させる、また、重要なインフラの機能維持に努めるべく取り組んでいます。

本県にあって、高速道路のミッシングリンク解消や道路ネットワークの機能強化など、社会資本整備において、災害時における機能強化を含めた対応が求められているところです。

このような状況にあって、災害の最前線に位置する市町村では、様々な対応に着手していますが、今後の施策を十分に展開するためにも、充足した財源の確保を含めた支援は極めて重要な問題であると考えます。

よって、国に対し、関連予算の確保等を求める意見書を提出しました。

【医療保険制度改革の推進を求める意見書】

国民健康保険は、国民皆保険制度の柱でもあり、最後の砦とも言える保険であります。しかしながら、国民健康保険料（税）については、協会けんぽなどの被用者保険と比べ、格段に高い状況にあります。

御承知のとおり、国保料（税）には、収入のない子供に対しても課せられる「均等割」が、制度として組み込まれており、このことも、加入世帯・加入者の大きな負担となっている要因と思われます。

このようなことから、国の責任と負担のもと、国保制度が安定的かつ持続的に運営されること、また、子育て世帯の負担軽減が図られる支援制度の創設が望まれます。

よって、国に対し、国保制度改革の推進に係る対策を求めるものです。

お知らせ

特別委員会を設置しました。

【高原病院に関する特別委員会設置】

目的 高原病院の経営及び今後の在り方について、議会として効率的かつ機動的に調査研究と検討を行い、町当局に提言を行うものです。



令和元年 第4回定例会議議決結果

[illegible]

※議会への提言・疑問・質問・議会だよりの感想等、ご自由にお書き下さい。

[illegible]

議案番号	件名	議決結果	①末永充	②陣圭介	③前原淳一	④中村昇	⑤反田吉己	⑥入佐廣登	⑦温水宜昭	⑧福澤卓志	⑨松元茂春	⑩温谷文雄
報告第2号	平成30年度高原町健全化判断比率及び資金不足比率について	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
同意第6号	教育委員会の委員の任命について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
承認第5号	専決処分について 令和元年度高原町一般会計補正予算（第2号）	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第36号	消費税及び地方消費税の税率の改正に伴う関係条例の整備に関する条例	可決	○	○	○	●	○	○	○	●	○	—
議案第37号	高原町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第38号	地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第39号	高原町手数料条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第40号	高原町印鑑登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第41号	高原町景観条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第42号	令和元年度高原町一般会計補正予算（第3号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第43号	令和元年度高原町介護保険事業特別会計補正予算（第2号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第44号	令和元年度高原町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第45号	物品購入契約について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
認定第1号	平成30年度高原町一般会計歳入歳出決算認定について	認定	○	●	○	●	○	○	○	○	○	—
認定第2号	平成30年度高原町住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	●	○	○	○	○	○	—
認定第3号	平成30年度高原町農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
認定第4号	平成30年度高原町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	●	●	●	○	○	○	○	○	—
認定第5号	平成30年度高原町介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	●	○	○	○	○	○	—
認定第6号	平成30年度高原町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	●	○	○	○	○	○	—

「○」：贊成、「●」：反對、「除」：除斥、「棄」：棄權、「欠」：欠席

いつまでも たのしく みんなで健康に

シリーズ②

健康づくり推進!



平成31年3月の定例会にて「高原町健康づくり推進条例」が制定されました。

町民が健康であることが、まちづくりの基本です。

はじめよう、まずは体を動かすことから...



他人の巣箱にチャッカリ…
ムササビの「くま」



高原には自然がいっぱい
健康のために散策をしてみませんか!

編集後記

◇今年も早11月となり、繁忙期も過ぎて皆様には一段落といったところではないでしょうか？
◇さて、9月の定例会も補正予算や30年度決算が全て可決承認され終了しました。一般質問では6名が登壇し、内4名が高原病院の問題やあり方について質問しました。病院問題は町財政に大きく影響を与える問題であり、町民の皆さんも感心のあるところだと思います。◇議会でも当局に提言をすべく、病院改革特別委員会を立ち上げたところです。◇また、編集委員会ではネーミングを一新し、さらには町民の皆さんの声を幅広く聞き取るために葉書をつけましたので、是非皆さんのご意見をお寄せください。◇今後とも、より読みやすい議会便りになるように委員一同努力して参ります。

前原 淳一

切り取り線

郵便はがき



差出有効期間
令和3年9月
30日まで
(切手不要)

8 8 9 4 4 9 0

(受取人)

高原町大字西麓899番地

高原町役場 議会事務局
議会だより編集委員会 行



ふりがな

ご氏名

※匿名を希望される場合はご記入ください。

(〒 -)

ご住所

お電話